

東証1部 (4733)

勘定奉行の



基幹業務システム

奉行 10



すべての業務とつながるひろがる

奉行クラウド

株式会社 オービックビジネスコンサルタント

2019年3月期 決算

2020年3月期 事業計画・戦略 説明会

2019年4月24日

2019年3月期 決算の概要

2019年3月期 決算の概況

売上高

前年同期比 25.6%増

ソリューション売上が前年同期比4,075百万円増（61.9%増）、サービス売上が同1,711百万円増（12.5%増）となった。売上高合計では同6,012百万円増（25.6%増）となった。

売上総利益

前年同期比 25.0 %増

- ◆ 原材料費が565百万円増加、インストラクター外注費が229百万円増加

営業利益

前年同期比 34.7%増

- ◆ 販管人件費が650百万円、研究開発費が460百万円、その他経費の増加が299百万円等により、販売費及び一般管理費が1,583百万円増加

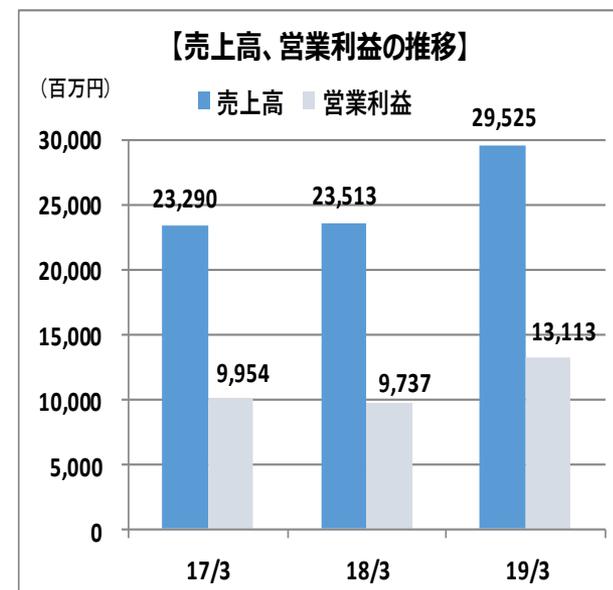
経常利益

前年同期比 25.5%増

- ◆ 投資事業組合運用損益が548百万円減少

当期利益

前年同期比 23.2%増



2019年3月期 決算の概要

(百万円)	18/3期		19/3期	19/3期		
		構成比 (%)	予想		構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	23,513	100.0	29,500	29,525	100.0	25.6
売上総利益	19,844	84.4	24,900	24,803	84.0	25.0
販売管理費	10,107	43.0	11,400	11,690	39.6	15.7
営業利益	9,737	41.4	13,500	13,113	44.4	34.7
営業外損益	1,461	6.2	920	938	3.2	△35.8
経常利益	11,198	47.6	14,420	14,051	47.6	25.5
当期利益	8,172	34.8	10,360	10,071	34.1	23.2

(百万円)	18/3期		19/3期	19/3期		
		構成比(%)	予想		構成比(%)	前期比(%)
ソリューション	6,580	28.0	10,871	10,655	36.1	61.9
関連製品	3,188	13.6	3,326	3,413	11.6	7.1
サービス	13,745	58.4	15,303	15,457	52.3	12.5
合計	23,513	100.0	29,500	29,525	100.0	25.6

ソリューション

- ◆ 2019年4月の奉行 i / V ERPのサポート終了により、奉行V ERP及び奉行NETWORK Editionのバージョンアップ需要が大幅に増加
- ◆ IT導入補助金の累計決定数（三次公募まで）は、1,050件・受注金額は約200百万円

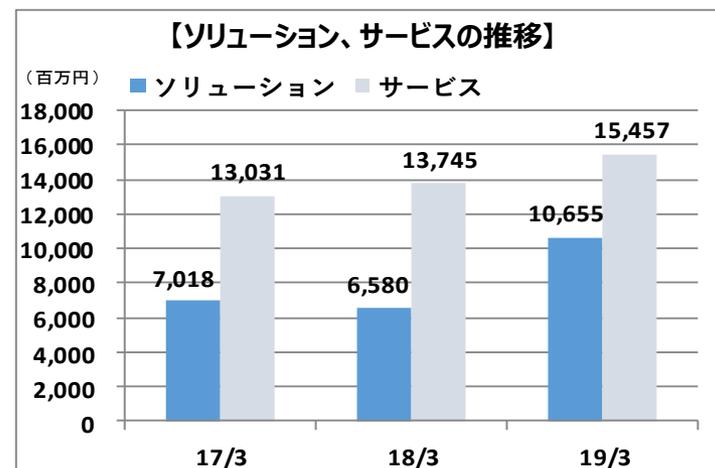
関連製品

- ◆ 奉行連動ソリューションが333百万円増加

サービス

- ◆ 奉行保守契約料等が1,302百万円増加※
- ◆ インストラクター指導料収入が434百万円増加

※ 奉行Edgeの増加を含む



ソリューション別出荷数量（本数ベース、バージョンアップ含む）

(単位:本)	18/3期		19/3期		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
奉 行 V E R P	1,378	7.6	2,661	9.6	93.1
NETWORK Edition	4,649	25.5	7,522	27.0	61.8
S t a n d a l o n e	11,498	63.1	16,866	60.6	46.7
J シ ス テ ム	688	3.8	783	2.8	13.8
合 計	18,213	100.0	27,832	100.0	52.8

※新ERPはNetwork Editionに含んでいます（18/3期 210本、19/3期 345本）

前年との比較

	新規本数	バージョンアップ本数
奉 行 V E R P	37.2%増加	152.3%増加
NETWORK Edition	7.9%増加	75.4%増加
S t a n d a l o n e	11.4%増加	58.0%増加
J シ ス テ ム	16.6%増加	7.4%減少

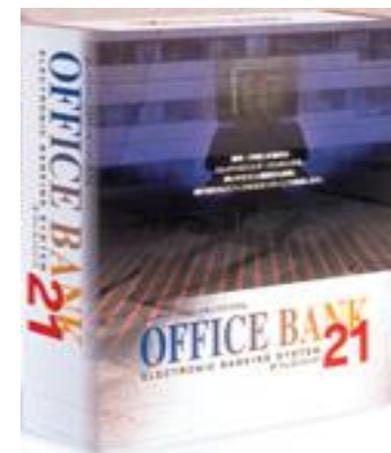
※新ERPはNetwork Editionに含んでいます（新規 48.7%減少、バージョンアップ 90.1%増加）

◆都銀向けOEM製品

- 2018年1月末稼働本数：22,613本
- 2019年1月末稼働本数：21,429本

◆地銀向けOFFICEBANK

- 当期出荷本数：609本（前年同期：741本）



提携先	商品名	提供時期
U F J 銀行	U-LINE Xtra	1998年5月
東京三菱銀行	せるふバンク	2000年5月
三井住友銀行	パソコンバンク・ナビ・ジュニア	2000年9月
みずほ銀行	みずほ2000	2000年9月

«EBソリューション»

Electronic Bankingの略。企業や家庭のコンピュータと金融機関とを通信回線で結び、オフィス・自宅にいながらにして金融機関のサービスを利用すること。

販売費及び一般管理費の内訳

(百万円)	18/3期		19/3期		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	23,513	100.0	29,525	100.0	25.6
販売及び管理費	10,107	43.0	11,690	39.6	15.7
販管人件費	3,140	13.4	3,790	12.8	20.7
研究開発費	2,453	10.4	2,913	9.9	18.8
広告宣伝費	737	3.1	824	2.8	11.8
地代家賃	472	2.0	534	1.8	13.1
減価償却費	219	0.9	243	0.8	11.0
その他経費	3,086	13.1	3,386	11.5	9.7

注) 伸率は前年同期比増減率

◆ 販管人件費、研究開発費の増加要因

- 上期の売上実績に対して、業績手当を97百万円支給
- 下期の売上実績に対して、業績手当を129百万円支給、決算賞与を158百万円支給、退職給付債務の数理計算差異（見積差異）が約200百万円発生

◆ その他の経費の主な増減項目

- 展示会費85百万円増・・・奉行フォーラムを開催
- 販売促進費48百万円増・・・IT導入補助金活用セミナー、働き方改革セミナーを開催
- 支払手数料72百万円増、租税公課（外形標準課税）45百万円増

貸借対照表－資産の部

		18/3	19/3	増減
(百万円)				
流動資産	現金預金	87,123	97,840	10,717
	受取手形	1,599	2,363	764
	売掛金	6,580	7,725	1,145
	たな卸資産	187	191	4
	その他	504	198	△306
	貸倒引当金	△13	△16	△3
固定資産	有形固定資産	537	448	△89
	無形固定資産	454	456	2
	投資その他の資産	26,949	30,658	3,709
資産合計		123,920	139,863	15,943

貸借対照表－負債・資本の部

		18/3	19/3	
			増減	
(百万円)				
負債合計	買掛金	244	316	72
	未払金	499	800	301
	未払法人税等	2,232	3,015	783
	前受収益	10,858	12,546	1,688
	退職給付引当金	1,651	2,154	503
	その他	3,172	5,594	2,422
負債合計		18,656	24,425	5,769
資本合計	資本金	10,519	10,519	0
	資本剰余金	18,949	18,949	0
	利益剰余金	71,557	78,622	7,065
	有価証券評価差額金	9,588	12,698	3,110
	自己株式	△5,349	△5,350	△1
資本合計		105,264	115,438	10,174
負債・資本		123,920	139,863	15,943

キャッシュ・フロー サマリー

(百万円)	18/3	19/3	主な増減理由	
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,116	11,824	税引前利益	14,505
			減価償却費	347
			売上債権増加額	△1,909
			未払消費税増加額	390
			前受収益増加額	1,688
			法人税等支払額	△3,926
			その他	729
投資活動によるキャッシュ・フロー	516	1,900	投資有価証券の売却等	2,151
			有形固定資産の取得	△57
			無形固定資産の取得	△196
			その他	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,819	△3,007	配当金支払	△3,007
現金及び現金同等物の増加額	5,813	10,717		
現金及び現金同等物期首残高	81,300	87,113		
現金及び現金同等物期末残高	87,113	97,830		

2020年3月期 事業計画

売上高

前年同期比1.6%増 300億円

(参考：前期実績)

(百万円)	上期計画	下期計画	通期計画
ソリューション	4,500	4,800	9,300
関連製品	1,400	1,800	3,200
サービス	8,400	9,100	17,500
合計	14,300	15,700	30,000

前上期	前下期
4,274	6,381
1,433	1,980
7,305	8,152
13,012	16,513

営業利益

前年同期比 2.2%増 134億円

- ◆販売費及び一般管理費は、前期支給した業績手当等は無くなるが、新入社員が70名入社したことに伴い、1.1億円の増加を見込む（実質は約7億円の増加）

経常利益

前年同期比 2.5%増 144億円

- ◆上場リートからの配当金収入を8億円見込む
- ◆投資事業組合運用益を2億円見込む

当期利益

前年同期比 2.2%減 98.5億円

2020年3月期 通期事業計画

(百万円)	19/3期		20/3期 計画			
		構成比 (%)		構成比 (%)	増減額	前期比 (%)
売上高	29,525	100.0	30,000	100.0	475	1.6
売上総利益	24,803	84.0	25,200	84.0	397	1.6
販売管理費	11,690	39.6	11,800	39.3	110	0.9
営業利益	13,113	44.4	13,400	44.7	287	2.2
営業外損益	938	3.2	1,000	3.3	62	6.6
経常利益	14,051	47.6	14,400	48.0	349	2.5
当期利益	10,071	34.1	9,850	32.8	△221	△2.2

20/3期の法人税等実効税率：30.6%

(百万円)	19/3期		20/3期 計画			
		構成比 (%)		構成比 (%)	増減額	前期比 (%)
ソリューション	10,655	36.1	9,300	31.0	△1,355	△12.7
関連製品	3,413	11.6	3,200	10.7	△213	△6.2
サービス	15,457	52.3	17,500	58.3	2,043	13.2
合計	29,525	100.0	30,000	100.0	475	1.6

ソリューション

- ◆ 上期は、消費税改正に伴う需要が発生
- ◆ 下期は、前期下期のバージョンアップ特需の反動減が発生
- ◆ 2019年4月の労働基準法改訂（働き方改革）により、HRソリューションの需要が引き続き増加

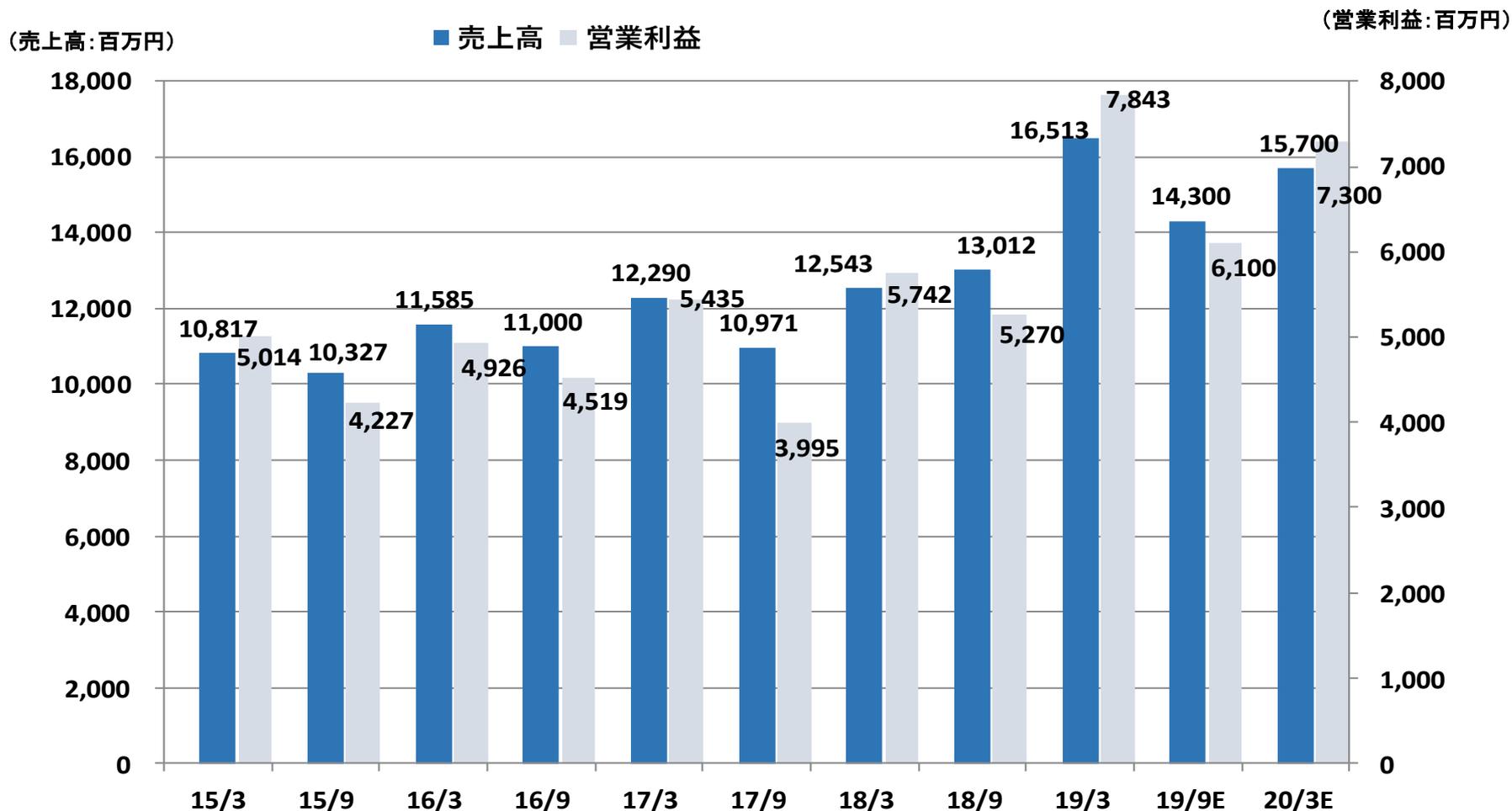
関連製品

- ◆ 前年同期比で横這い

サービス

- ◆ 3月末におけるB/S上の前受収益が前年同期比1,688百万円増加
- ◆ 奉行Edgeが、徐々に収益に寄与

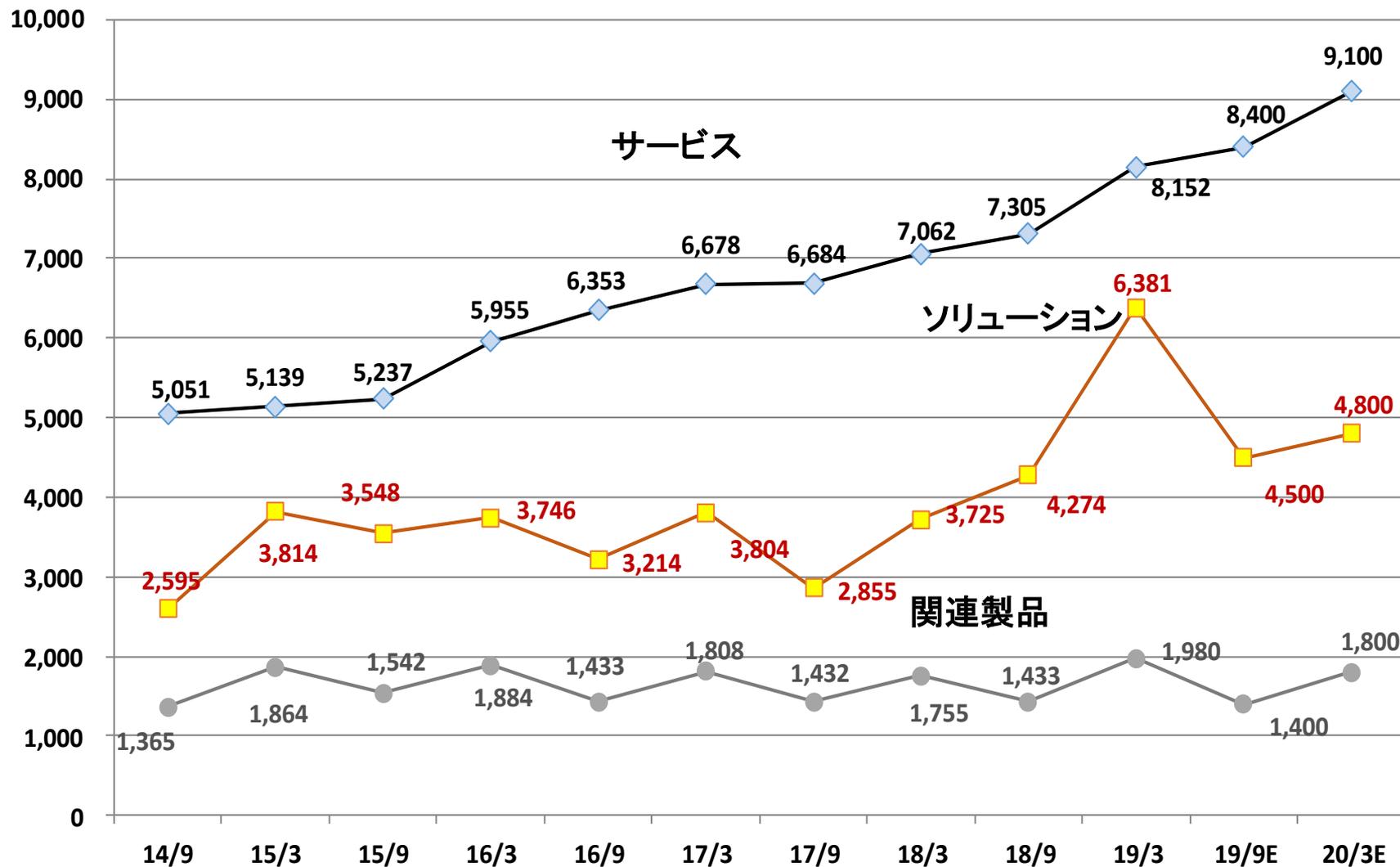
業績の推移（半期ベース）



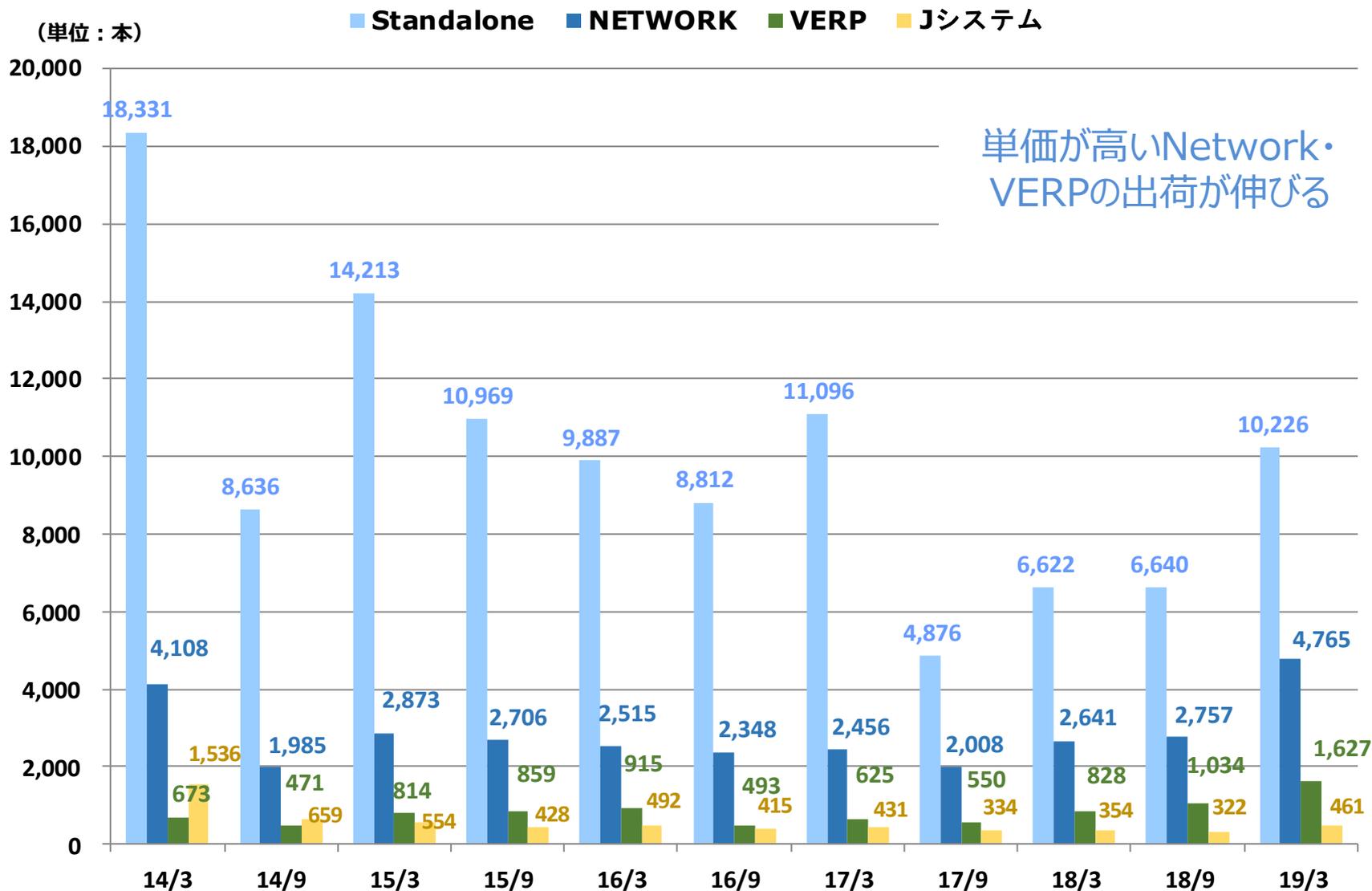
品目別売上高（半期ベース）

(単位:百万円)

◆ サービス ■ ソリューション ● 関連製品



ソリューションの出荷数量（半期ベース）



20年3月期 事業戦略

成長に向けての3つのコンセプト

【1】今まで以上

Microsoft Azureにより、機能・操作性、信頼性、運用管理、サポート、導入のしやすさ、入力のスピード等、従来よりもすべてが今まで以上になる。

【2】マイクロソフトのテクノロジーのうえで

①「つながる・広がる」世界

Open APIによりデータやソリューションがつながり、OBCiDにより職業専門家とつながり、「つながる・広がる」世界を実現する。

②すべてが「自動化される」

データ処理の自動化、データ申請・申告業務の自動化によりRPAを実現する。

【3】世界最高水準のセキュリティ

Microsoft Azureをクラウドプラットフォームとして活用する事により、世界最高水準の安心安全なセキュリティを実現する。

参考：最新テクノロジー（自動処理、グローバル処理（MSの翻訳を利用）、人工知能、ビッグデータ、Fintech、RPA、5G等）など、レイヤー化された機能を活用して上記を実現する。

OBCが次世代において、社会にイノベティブな提案ができる 5つのイノベーション（変革）

【1】外語外貨

国内の勘定奉行クラウドと同じ機能、プラットフォーム、データ構造を有した多言語・多通貨対応の勘定奉行Global Editionにより、海外子会社の情報をリアルタイムで把握し、日本企業のグローバル展開のガバナンス向上に貢献する。

【2】BPO

社労士、会計士、税理士等の職業専門家に奉行クラウドを通して、リアルタイムにデータ共有し、専門家サポートを受けることができる。これにより、専門家と事業会社のバックオフィス業務のプロセスを分解・分担可能となり、フルアウトソーシング以上の業務効率化が実現できる。

【3】各種自動処理（法人税申告の自動化 等）

デジタルトランスフォーメーションによりすべてがデータ化されていく。その結果、奉行クラウドから各種業務や行政への登録や申告等が自動化され、すべてがシームレスに連携される。

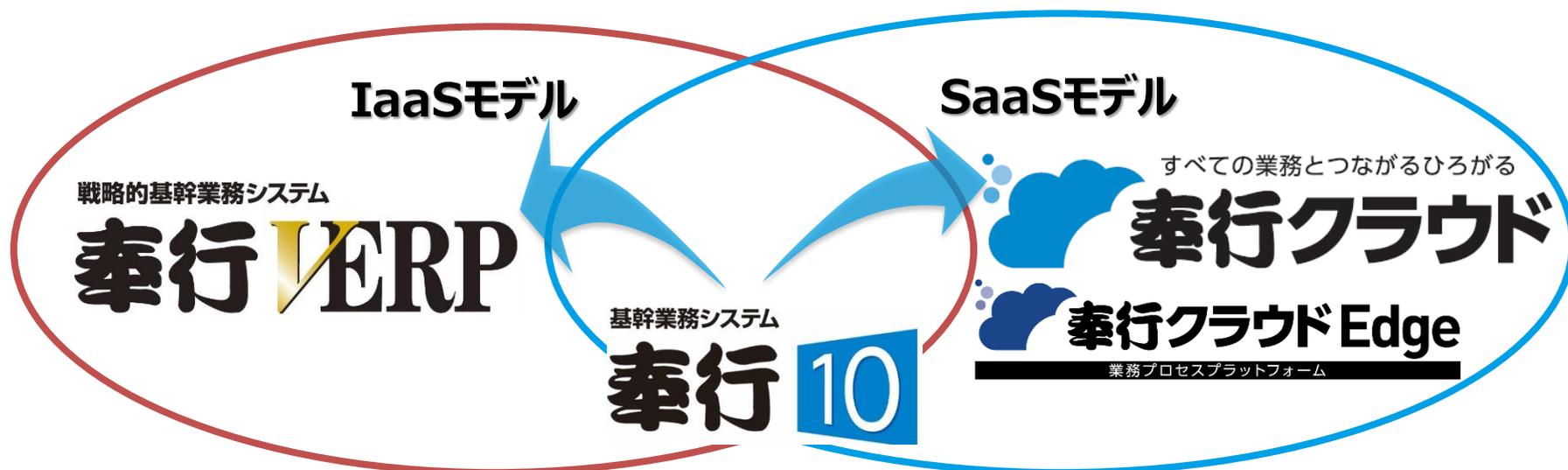
【4】M&A バーチャルなデューデリジェンスの実現

奉行クラウドのプラットフォームから、M&A関係機関へOBCiDを通して財務データや、固定資産データ、人事労務データ等がリアルタイムに共有できる。これにより、従来、時間をかけて紙媒体で大量に集めて評価していた作業がなくなり、迅速な事業評価が可能となる。

【5】電子請求、電子決済、バンキングなどのFintech利活用

奉行クラウドは、世の中のFintechサービスなどのレイヤー化された機能を利活用し、電子請求や電子決済、金融機関とのAPI連携などを実現する。

マルチクラウドによるサブスクリプションビジネスの推進



奉行のマルチクラウド化により、柔軟なニーズに対応！

1. 奉行クラウド (SaaS) ビジネスを構築
2. 奉行V ERP (IaaS) によりSierとの協業を強化
3. 奉行クラウドEdgeにより新領域を開拓

1. 消費税改正の継続対応
2. 働き方改革 ソリューション
3. 新規顧客・追加提案(+ONE)
バージョンアップビジネス
4. 自動処理による効率化提案
5. APIによる、つながる・
ひろがる世界の推進

IaaSモデル

戦略的基幹業務システム

奉行VERP

- LLSによる安定性と安心
- クラウド対応力

SaaSモデル

すべての業務とつながるひろがる



奉行クラウド

- 最先端テクノロジー&
API連携・自動処理
- 利用料モデル&専門家

税制改正による継続的な不安への確実な対応

2019年度 主な活動スケジュール

2019年
4月

10月

2020年
3月

販売戦略

● 2019年5月1日(予定)
元号改定

消費税改正対応

- ・会計系(勘定奉行)
- ・販売管理系(商奉行・蔵奉行)

★消費税・働き方改革対応キャラバン

● 2019年10月(予定)
消費税10%
軽減税率

マルチクラウド戦略 IaaS or SaaS

- ・奉行8系早期クラウド移行推進
- ・新規顧客へのクラウドファースト提案

★PartnerConference
全国12箇所

★奉行フォーラム
〈クラウド新製品発表会〉

● 2020年以降(予定)
法人税電子申告義務化(大企業)

IT導入補助金 & 軽減税率対策補助金

働き方改革

● 2019年4月1日 労働基準法改訂

- ・働き方改革支援HRソリューション推進活動

奉行クラウドNewリリース

● 勘定奉行クラウドGlobalEdition

● 内訳書・概況書 for 勘定奉行クラウド

● 債権奉行クラウド

● 債務奉行クラウド

● 蔵奉行クラウド

● 2019年7月
SQL2008R2
サポート終了

● BPOモデル for 勘定奉行クラウド

● 申告奉行クラウド(法人税・地方税申告)

● 固定資産奉行クラウド

● 人事奉行クラウド

● BPOモデル for 給与奉行クラウド

● 法定調書奉行クラウド

● 2020年1月
Windows7
Windows Server2008 R2
サポート終了

システム環境

債権・債務奉行クラウド新登場

1. 特長

01
自動化により、
業務時間を大幅減

02
債権・債務管理を
まるごとシステム化

03
今の基幹システムと
一緒に使える

※対応予定

2. 機能概要



3. 他システム連携

あらゆる基幹システムとつながる・ひろがる

APIを使ってあらゆる基幹システムと連携できるため、今ご利用のシステムを変えることなく、債権・債務管理業務の生産性を向上することができます。



本日はありがとうございました。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

www.obc.co.jp